

2008 年度

<p>科目名</p> <p>生活科教育法</p>	<p>対象学科・学年 教育教職 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p>丹羽 孝昭</p>
<p>授業テーマ</p> <p>自立への基礎を養う生活科学習のあり方を求めて</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>生活科誕生の背景や教育的意義をとらえ、小学校低学年における生活科の特色を把握する。その上に立って、今回の改訂の趣旨をふまえ、生活科の目標、内容、学習指導の方法などの理解を図り授業づくりに役立てる。</p>		
<p>評価方法</p> <p>期末テスト（70 点）、レポート、出席状況、受講態度等（30 点）により多面的、総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>小学校学習指導要領解説 生活編</p>	<p>著者 文部省</p>	<p>出版社 日本文教出版社</p>
<p>参考書</p> <p>新小学校教育課程講座（生活）</p>	<p>著者 嶋 野 道 弘</p>	<p>出版社 ぎょうせい</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校低学年における生活科のもつ教育的意義 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活科誕生の背景、生活科の特質 (2) 今回の改訂の内容と趣旨 2. 生活科の目標 教科目標・学年目標の構成と趣旨 3. 生活科の内容 内容構成の視点と 8 項目の内容の趣旨 4. 生活科の指導計画の作成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域素材の研究 生活科マップ・生活科暦の作成と活用 (2) 児童の実態の把握 児童のもつ興味・関心、体験や技能の度合、友人関係など (3) 指導体制の工夫 多様な活動を生む指導体制 (4) 作成上の配慮事項 5. 生活科の学習指導 <ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な活動や体験を引き出す工夫をする (2) 知的な気付きを大切にする (3) 教師の役割を自覚する (4) 学習指導案の作成と学習指導の実際 <ol style="list-style-type: none"> 「季節の変化と生活」に関する指導 「身近な自然やものを利用した遊び」に関する指導 「自分の成長」に関する指導 6. 生活科における評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 評価の特質 (2) 評価の観点と評価方法 		